



2012年3月期 決算説明会資料



2012年5月17日
リンテック株式会社

2012年3月期 連結業績の概要①

	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

(単位:百万円)

売上高	200,905	212,733	▲11,828 (▲5.6%)
-----	---------	---------	--------------------

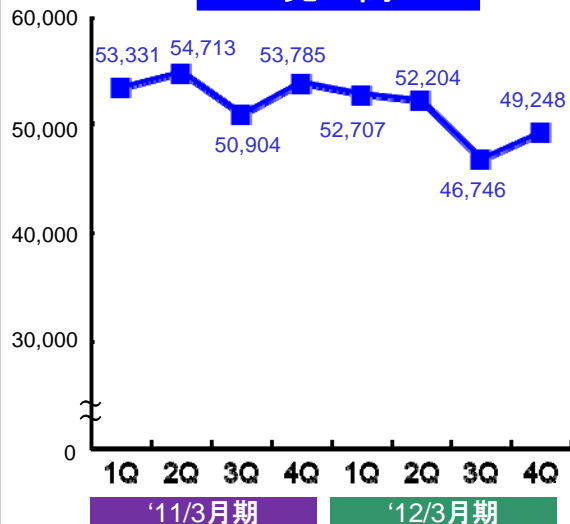
営業利益	13,975	20,889	▲6,914 (▲33.1%)
------	--------	--------	--------------------

経常利益	13,613	19,520	▲5,907 (▲30.3%)
------	--------	--------	--------------------

当期 純利益	8,648	13,622	▲4,974 (▲36.5%)
-----------	-------	--------	--------------------

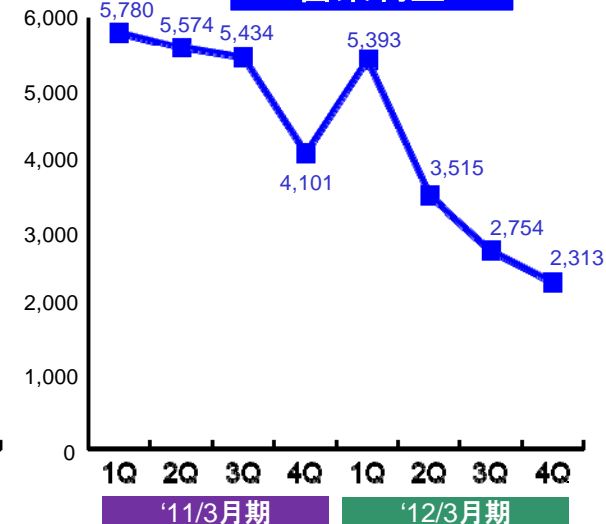
(単位:百万円)

売上高



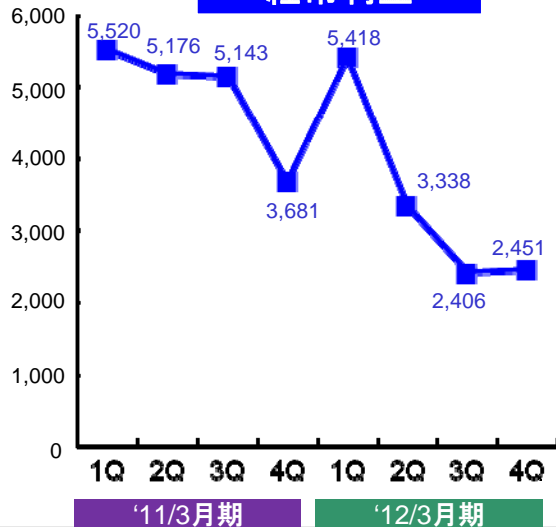
(単位:百万円)

営業利益



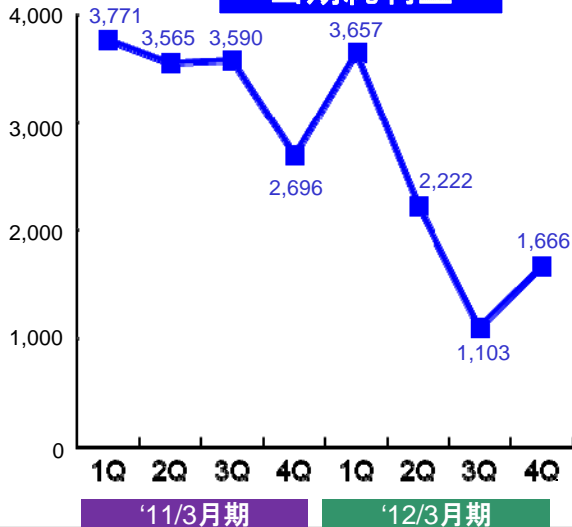
(単位:百万円)

経常利益



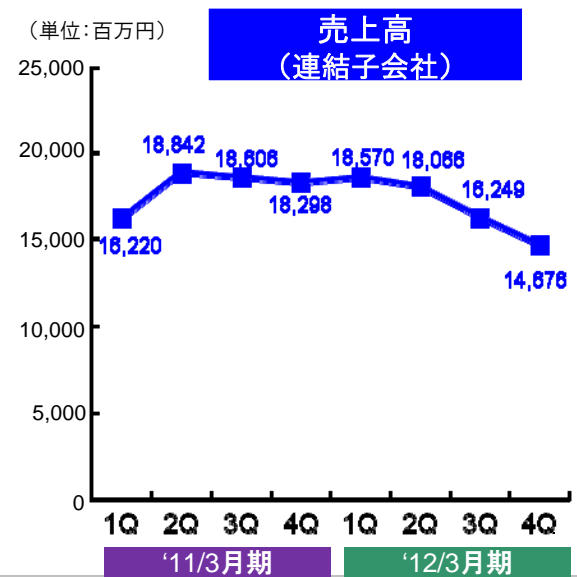
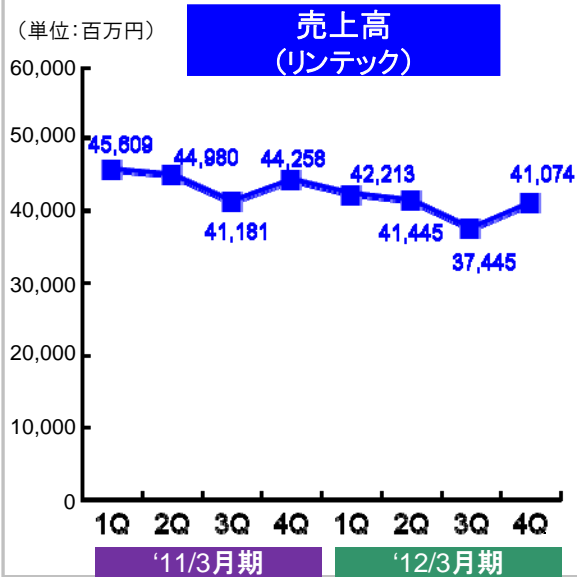
(単位:百万円)

当期純利益

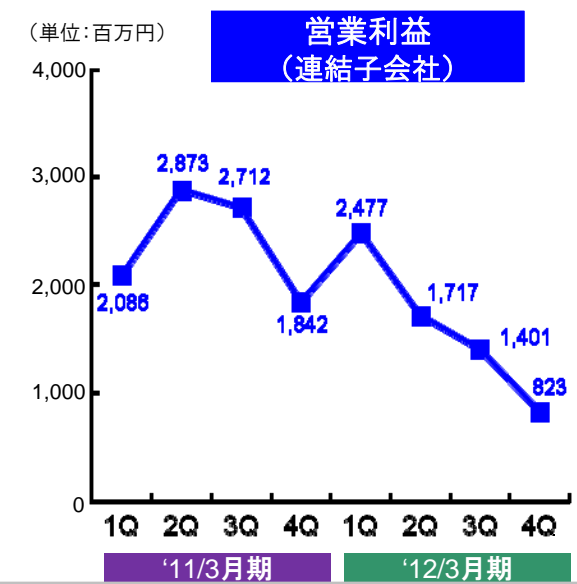
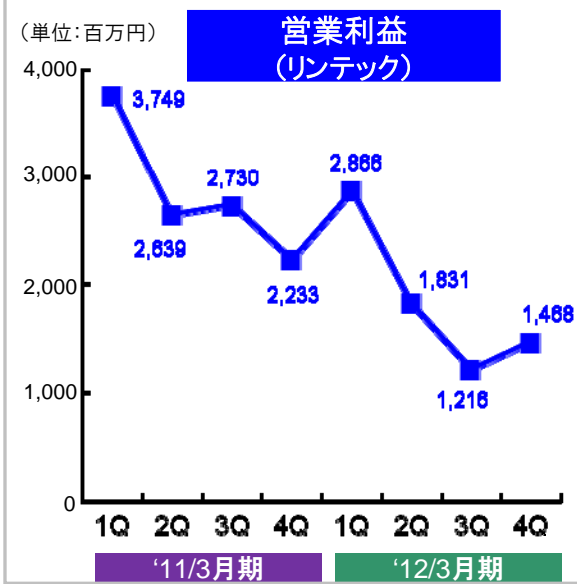


2012年3月期 連結業績の概要②

	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
売上高			(単位:百万円)
リンテック	162,177	176,028	▲13,851 (▲7.9%)
連結子会社	67,561	71,966	▲4,405 (▲6.1%)
消去	▲28,833	▲35,261	6,428
計	200,905	212,733	▲11,828 (▲5.6%)



	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
営業利益			(単位:百万円)
リンテック	7,381	11,351	▲3,970 (▲35.0%)
連結子会社	6,418	9,513	▲3,095 (▲32.5%)
消去	176	25	151
計	13,975	20,889	▲6,914 (▲33.1%)



➤ 売上高

● リンテック単体

半導体メーカーの設備投資抑制により半導体関連装置が大幅に減少
 液晶関連粘着製品が国内、台湾向け低調
 マディコ向け太陽電池用バックシートが大幅に減少

● 連結子会社

前第4四半期よりソーラマトリックスが連結子会社に加わる
 リンテックコア好調、韓国・台湾液晶関連子会社・リンテック蘇州が堅調
 マディコにおいて太陽電池用バックシートが大幅に減少
 半導体関連装置が台湾市場で大幅減、タイの洪水によりリンテックシンガポールの業績に影響
 円高による円貨換算目減り額 約32億円

➤ 営業利益

● リンテック単体

(増益要因)

売上構成の改善 約10億円

(減益要因)

販売数量の減少、販売単価の下落 約44億円
 原燃料価格の上昇 約6億円

● 連結子会社

マディコで大幅な減益
 円高による日本からの原材料調達価格が上昇
 円高による円貨換算目減り額 約3億円

【期中平均為替レート(実績)】

	(2011/3)		(2012/3)
円/US\$	87.32	→	79.46
円/WON	0.0753	→	0.0722
円/1-0	115.09	→	111.42
円/中国元	12.91	→	12.32
円/台湾\$	2.78	→	2.71

2012年3月期 印刷材・産業工材関連の概要①

	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

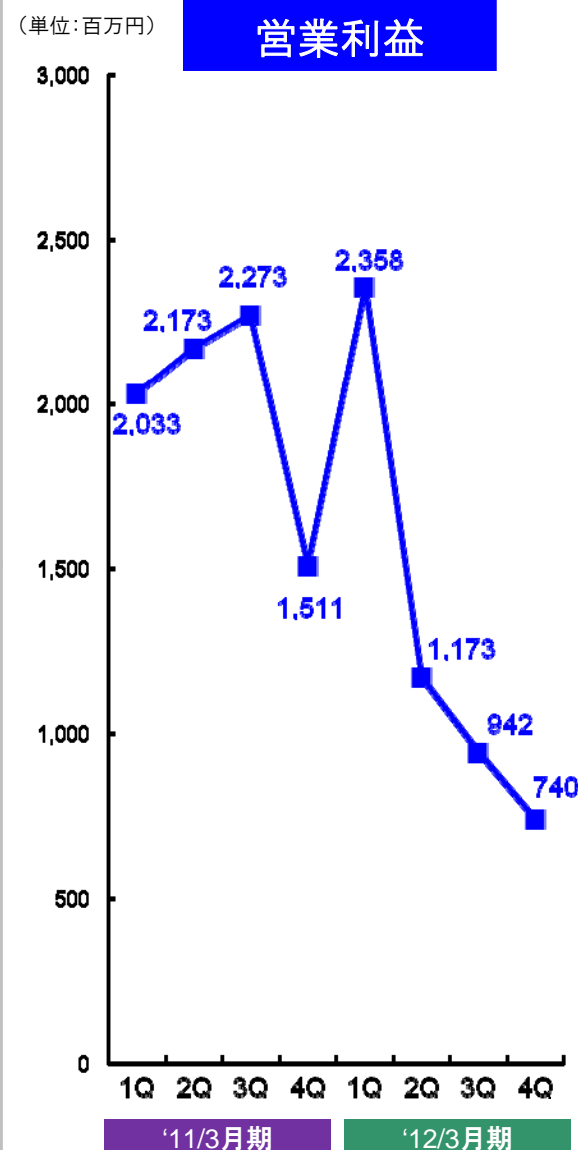
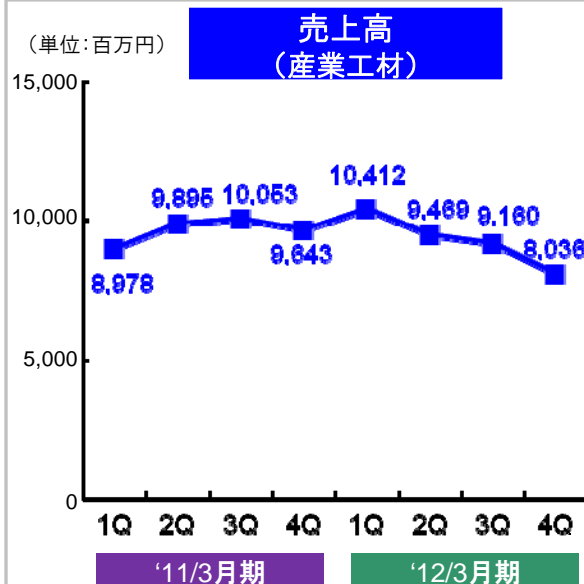
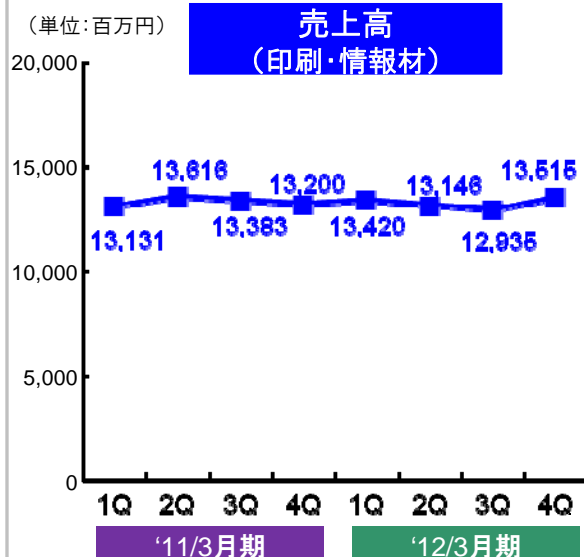
(単位:百万円)

印刷・情報材 事業部門	53,016	53,330	▲314 (▲0.6%)
----------------	--------	--------	-----------------

産業工材 事業部門	37,077	38,569	▲1,492 (▲3.9%)
--------------	--------	--------	-------------------

売上高 合計	90,093	91,899	▲1,806 (▲2.0%)
-----------	--------	--------	-------------------

営業利益	5,213	7,990	▲2,777 (▲34.8%)
------	-------	-------	--------------------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：東日本大震災が主力ユーザーの生産活動に影響、円高による輸出の停滞、個人消費の伸び悩みになどより前期を下回る

海外：中国、インドネシアなどにおいて欧州の景気後退による輸出への影響、タイの洪水が主力ユーザーの操業に影響などにより前期並み

➤ 産業工材事業部門

建物用ウインドーフィルム：ガラス飛散防止や節電対策目的で需要増

前第4四半期よりソーラマトリックスが連結子会社に加わる

太陽電池用バックシート：欧州において太陽電池の需要が低迷

前期107億円→当期66億円

2輪を含む自動車関連粘着製品、工業用粘着製品が震災やタイの洪水による影響で減少

2012年3月期 電子・光学関連の概要①

	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
--	---------------	---------------	-------------

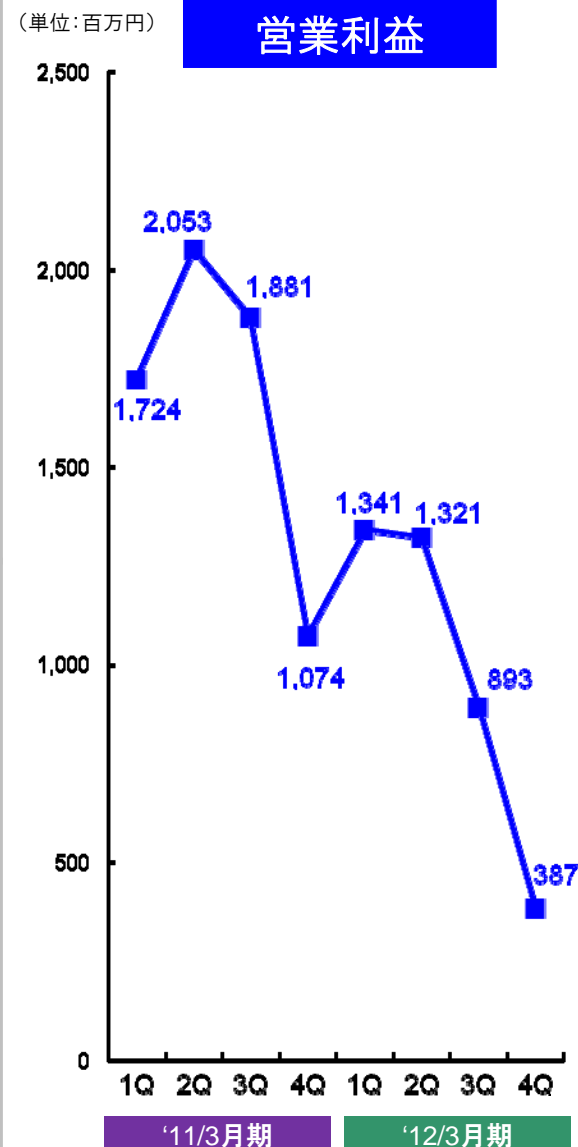
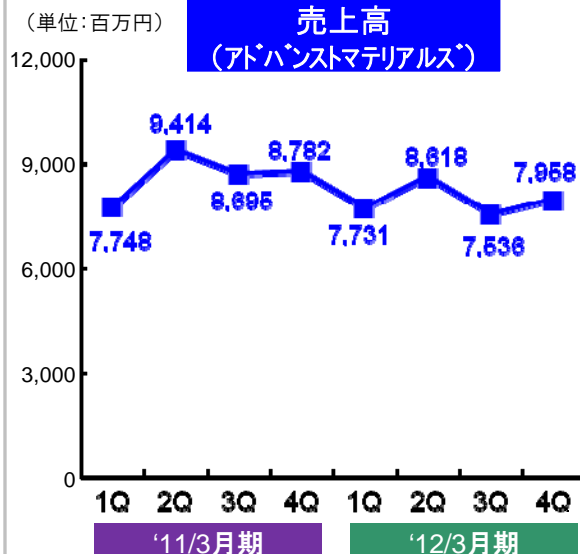
(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	31,843	34,639	▲2,796 (▲8.1%)
-------------------------	--------	--------	-------------------

オプティカル材 事業部門	42,031	46,516	▲4,485 (▲9.6%)
-----------------	--------	--------	-------------------

売上高 合計	73,874	81,155	▲7,281 (▲9.0%)
-----------	--------	--------	-------------------

営業利益	3,942	6,732	▲2,790 (▲41.4%)
------	-------	-------	--------------------



➤ アドバンス材料ズ 事業部門

半導体関連粘着製品：単体は震災や半導体メーカーの生産減により減少
海外はUV硬化型のバックグラインドテープなどが増加
全体で微増

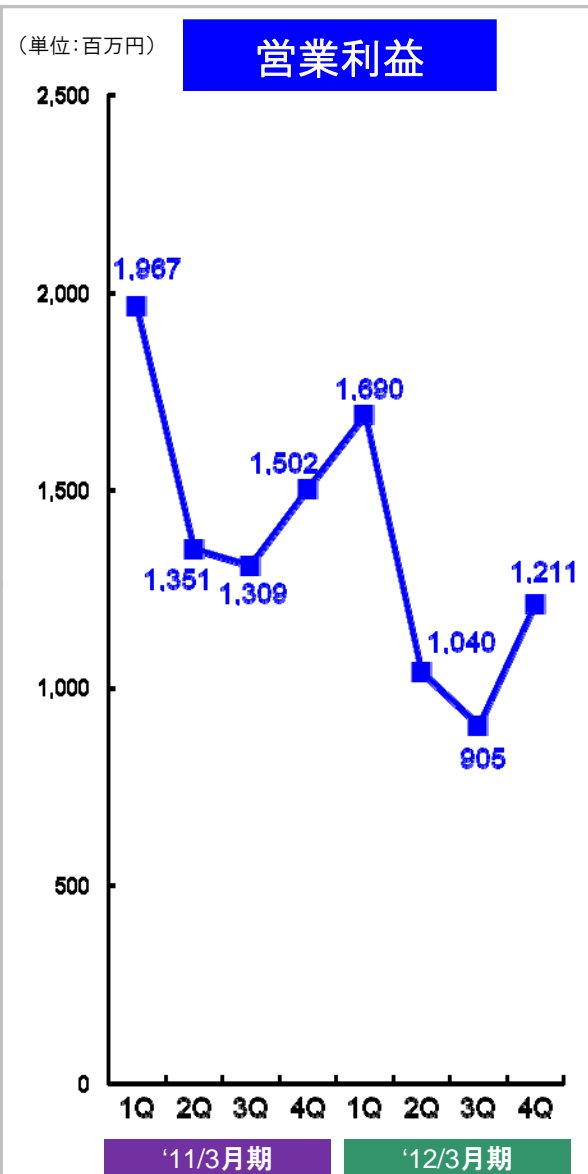
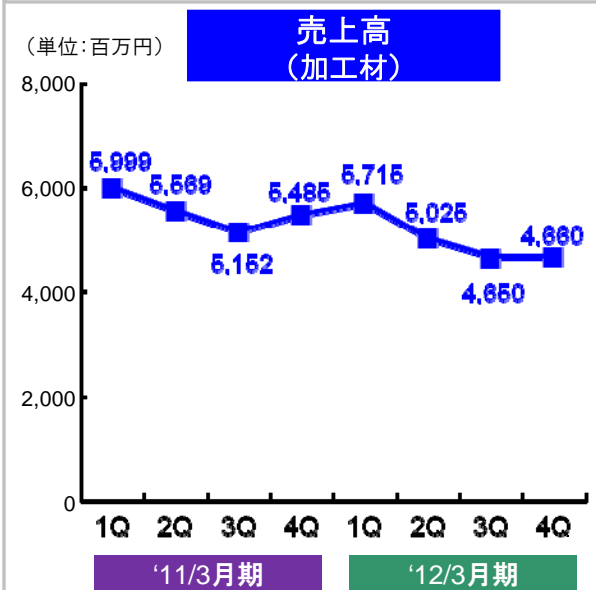
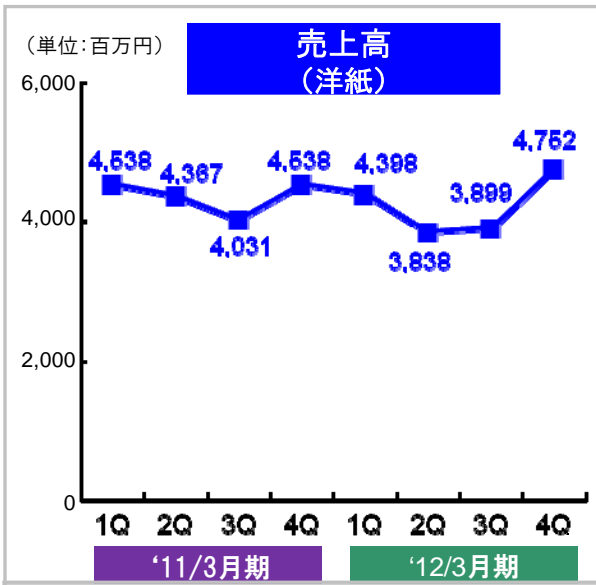
半導体関連装置：台湾を中心に半導体メーカーの設備投資抑制により大幅減
MLCC用コートフィルム：旺盛なスマートフォン需要により堅調
PDPなどの光デバイス関連製品が大幅減

➤ オプティカル材 事業部門

スマートフォン需要などの効果により韓国、台湾子会社堅調
液晶テレビの販売が低調であり単体で大幅減

2012年3月期 洋紙・加工材関連の概要①

	'12/3月期 累計	'11/3月期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
洋紙 事業部門	16,887	17,474	▲587 (▲3.4%)
加工材 事業部門	20,050	22,205	▲2,155 (▲9.7%)
売上高 合計	36,937	39,679	▲2,742 (▲6.9%)
営業利益	4,846	6,129	▲1,283 (▲20.9%)



➤ 洋紙事業部門

壁紙用の建材用紙：震災からの復興需要により伸長

カラー封筒用紙：新製品が順調であったものの、震災や景気低迷の影響などもあり微減

クリーンペーパーなどの工業用特殊紙：震災、タイの洪水、景気後退の影響を受け減少

➤ 加工材事業部門

主力の一般粘着用・FPC用などの剥離紙、合成皮革用工程紙が需要低迷により減少

2013年3月期 連結業績の見通し①

	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

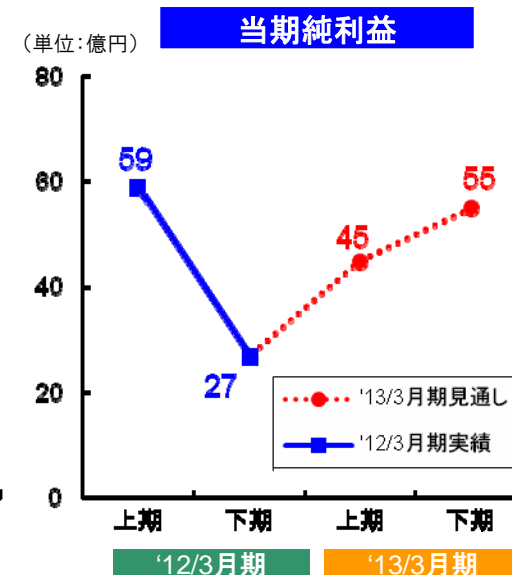
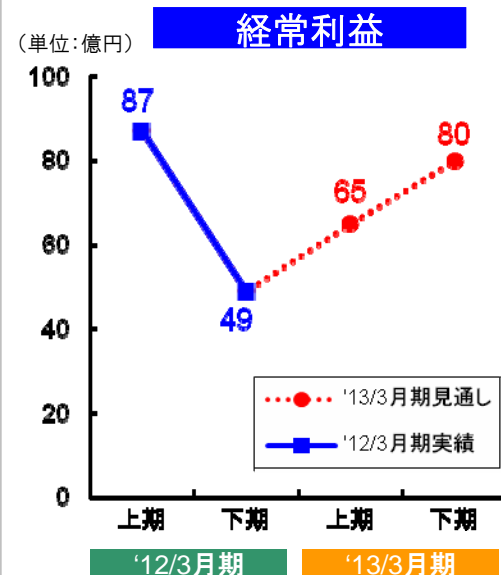
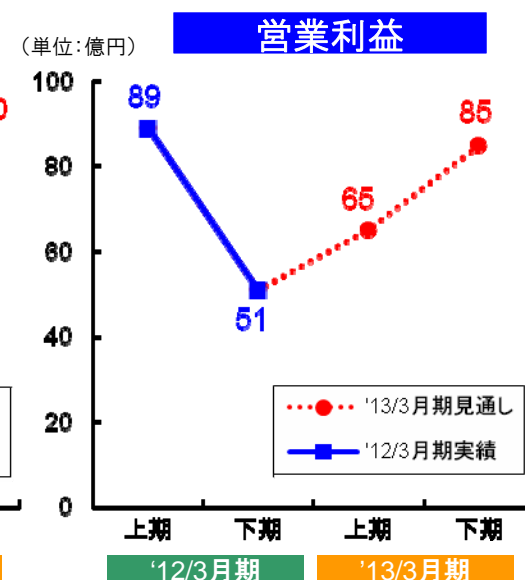
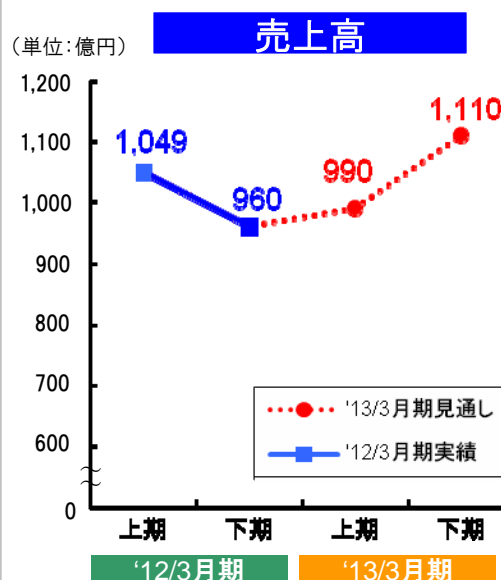
(単位: 億円)

売上高	2,100	2,009	91	4.5%
-----	-------	-------	----	------

営業利益	150	140	10	7.3%
------	-----	-----	----	------

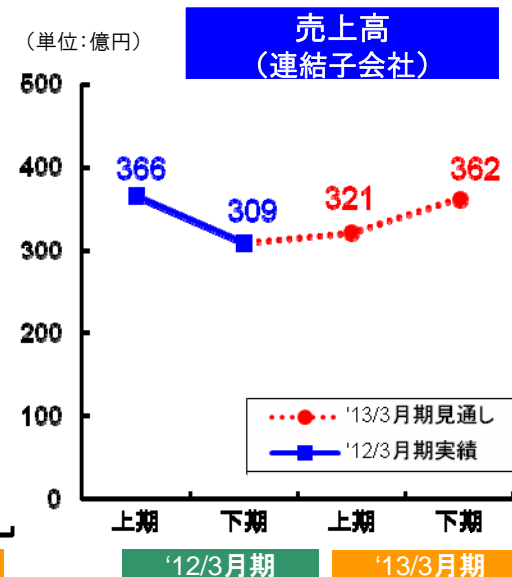
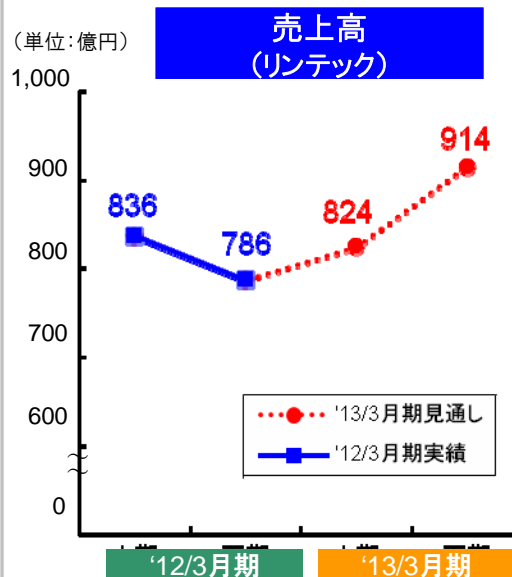
経常利益	145	136	9	6.5%
------	-----	-----	---	------

当期 純利益	100	86	14	15.6%
-----------	-----	----	----	-------

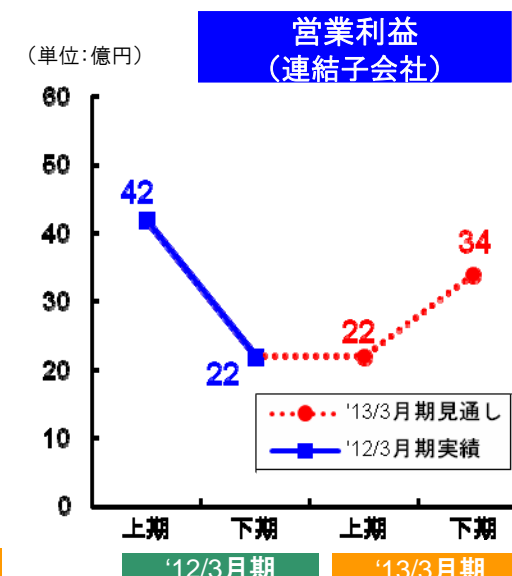
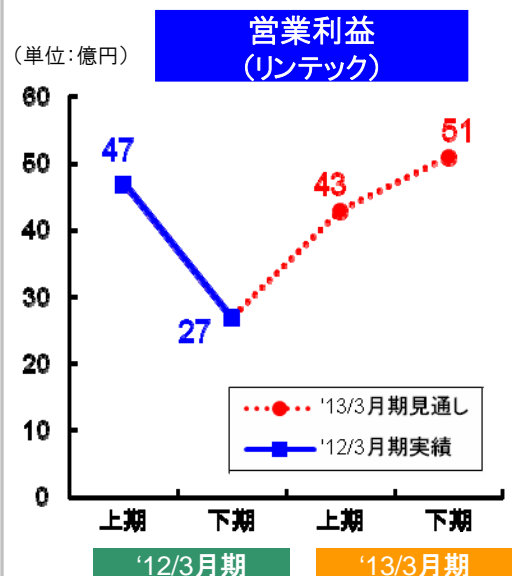


2013年3月期 連結業績の見通し②

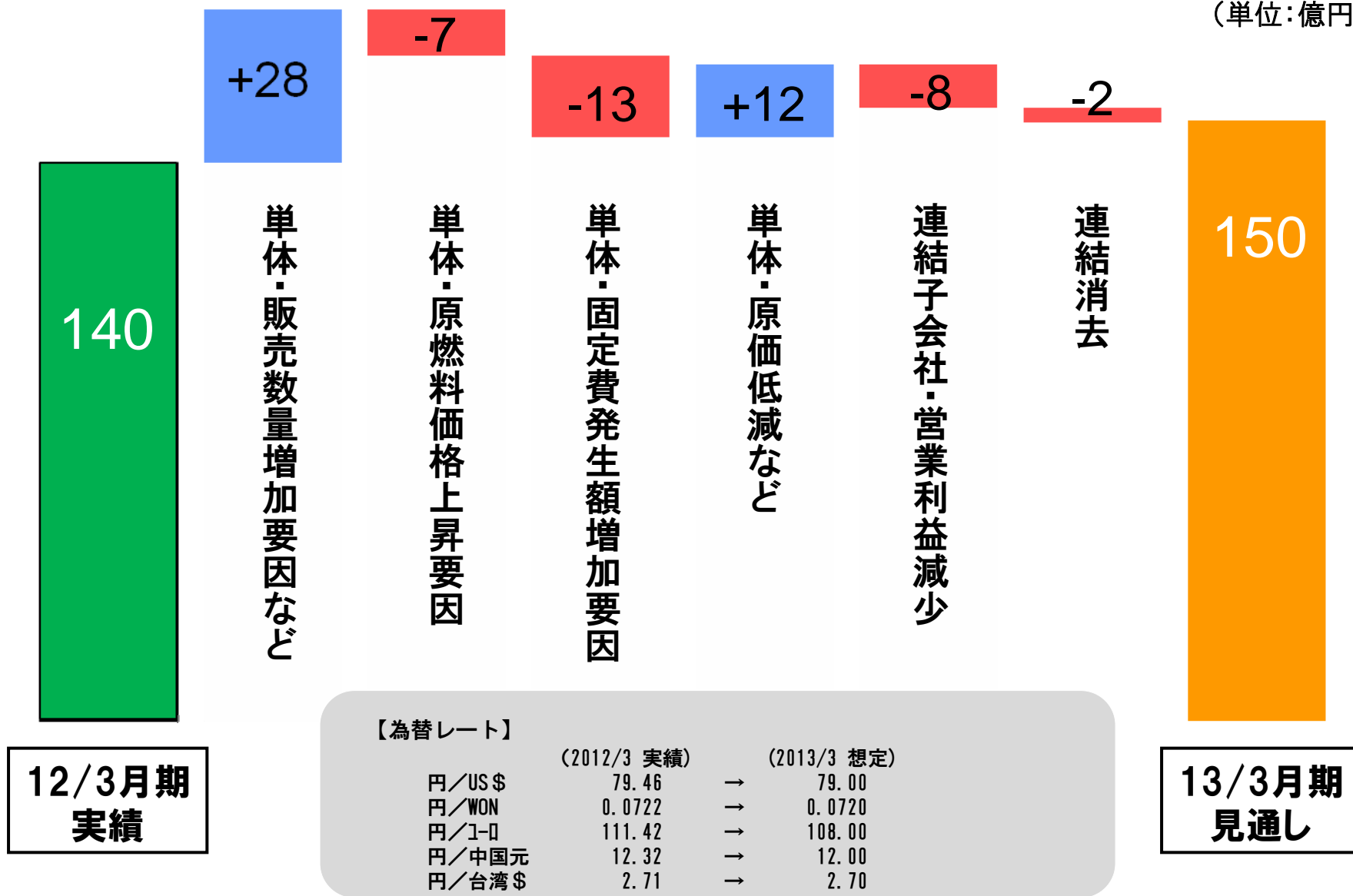
	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
売上高				
	(単位: 億円)			
リンテック	1,738	1,622	116	7.2%
連結子会社	683	675	8	1.2%
消去	▲321	▲288	▲33	—
計	2,100	2,009	91	4.5%



	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
営業利益				
	(単位: 億円)			
リンテック	94	74	20	27.0%
連結子会社	56	64	▲8	▲12.5%
消去	0	2	▲2	—
計	150	140	10	7.3%



(単位:億円)



2013年3月期 印刷材・産業工材関連の見通し①

	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

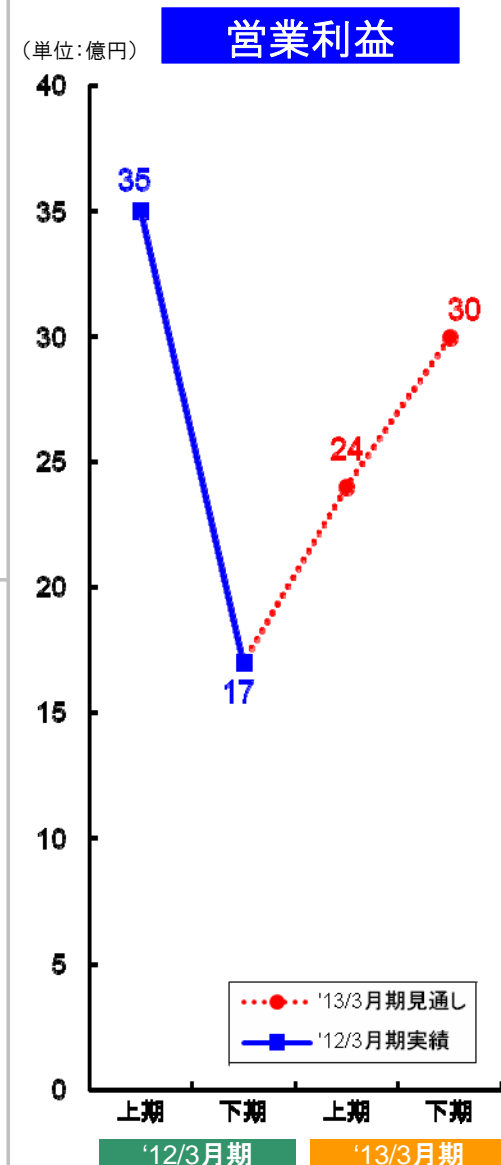
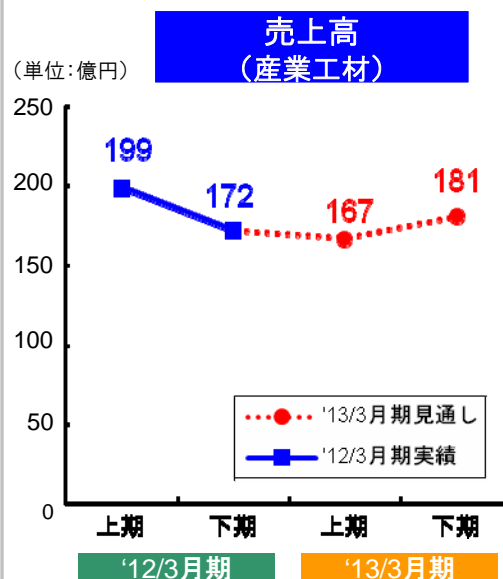
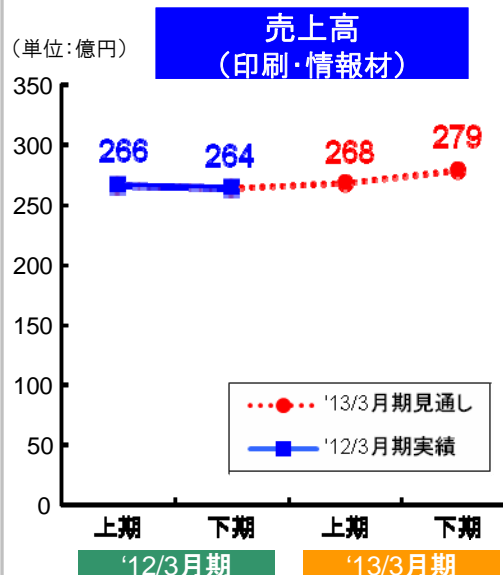
(単位:億円)

印刷・情報材 事業部門	547	530	17	3.2%
----------------	-----	-----	----	------

産業工材 事業部門	348	371	▲23	▲6.2%
--------------	-----	-----	-----	-------

売上高 合計	895	901	▲6	▲0.7%
-----------	-----	-----	----	-------

営業利益	54	52	2	3.8%
------	----	----	---	------



➤ 印刷・情報材事業部門

国内：食品、医薬、物流用途を中心に堅調に推移

海外：アジア地域で内需拡大による効果が期待され堅調に推移

➤ 産業工材事業部門

2輪を含む自動車関連粘着製品：国内外メーカーの増産により回復

太陽電池用バックシート：今期は前期に比べ減少

新製品の売り上げは年後半以降に期待

ウインドーフィルム：米国国内で直接販売体制の戦略効果で伸長

2013年3月期 電子・光学関連の見通し①

	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

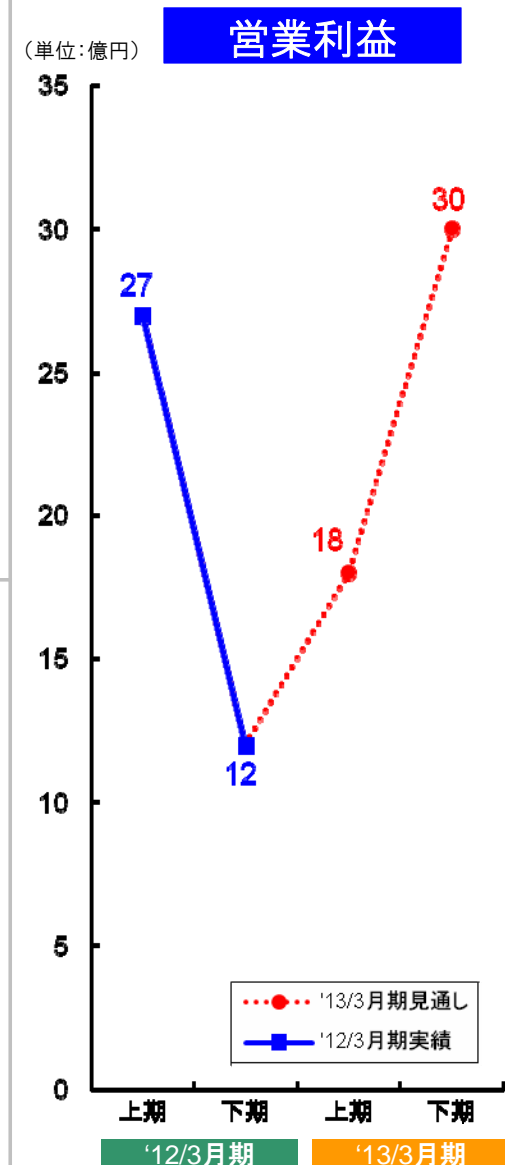
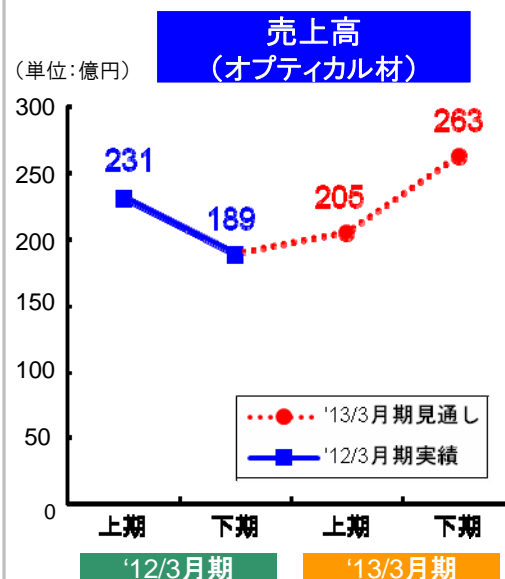
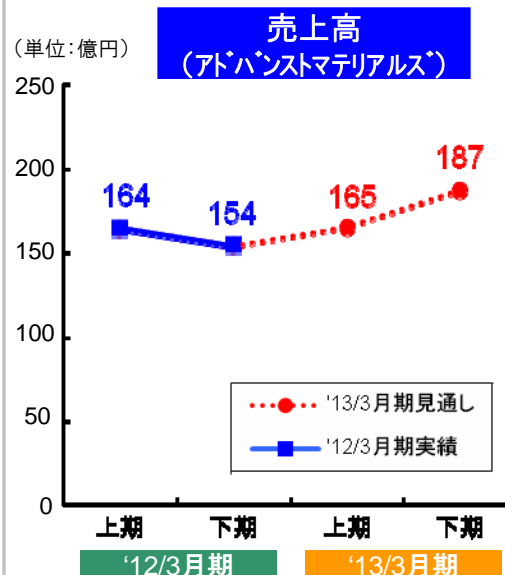
(単位:億円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	352	318	34	10.7%
-------------------------	-----	-----	----	-------

オプティカル材 事業部門	468	420	48	11.4%
-----------------	-----	-----	----	-------

売上高 合計	820	738	82	11.1%
-----------	-----	-----	----	-------

営業利益	48	39	9	23.1%
------	----	----	---	-------



➤ アドバンスドマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着製品：半導体メーカーの生産回復と新規採用により大幅増を見込む

半導体関連装置：引き合いが増加しており、前期を上回ると期待

MLCC用コートフィルム：スマートフォン需要に牽引され順調に推移

➤ オプティカル材事業部門

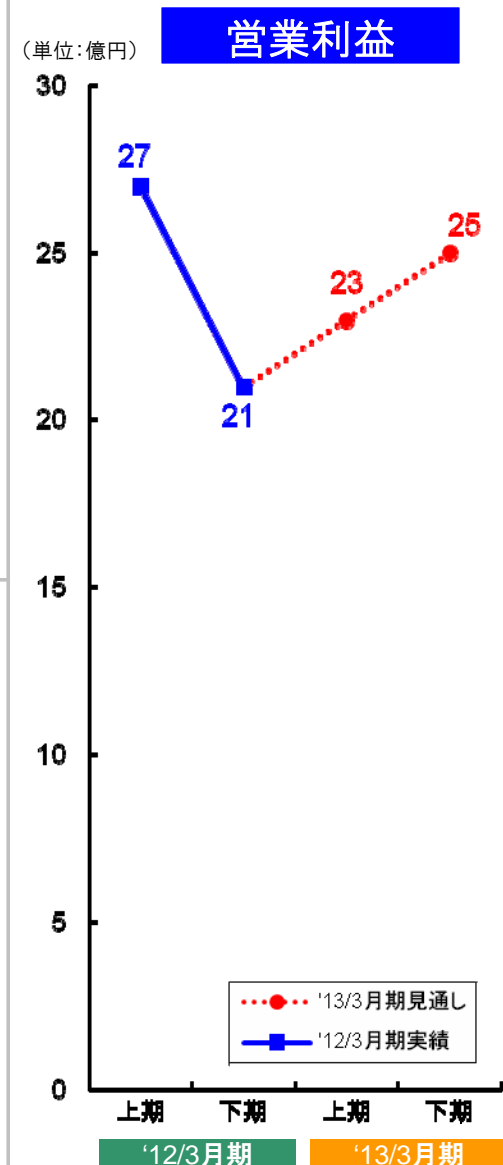
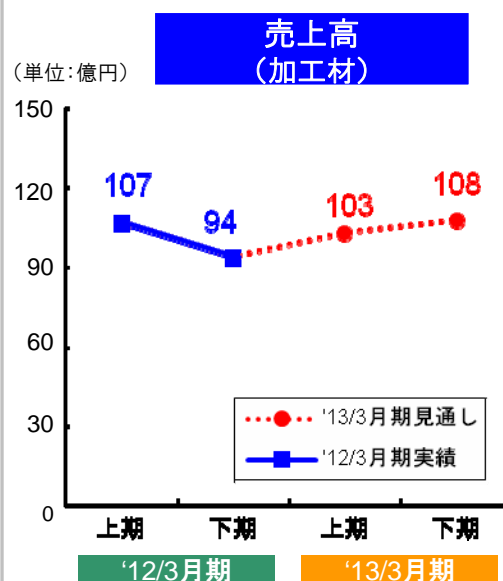
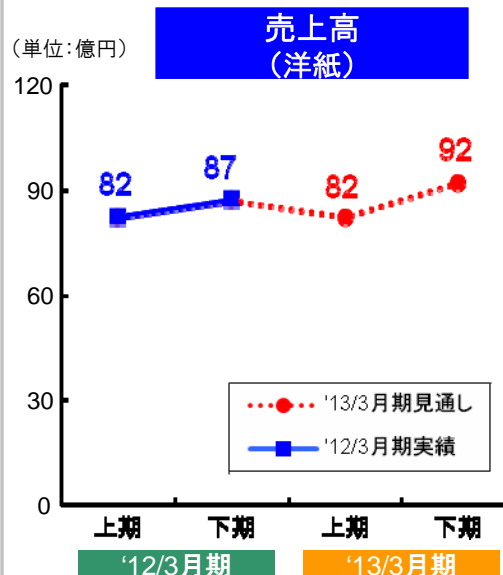
テレビ用やタブレット端末、スマートフォン需要を中心に夏場以降に回復

2013年3月期 洋紙・加工材関連の見通し①

	'13/3月期 見通し	'12/3月期 実績	増減	増減率
--	----------------	---------------	----	-----

(単位:億円)

洋紙 事業部門	174	169	5	3.0%
加工材 事業部門	211	201	10	5.0%
売上高 合計	385	370	15	4.1%
営業利益	48	48	0	0.0%



➤ 洋紙事業部門

主力のカラー封筒用紙の需要は引き続き厳しい状況
クリーンペーパーなどの工業用特殊紙や耐油耐水紙などの機能紙の拡販でカバー

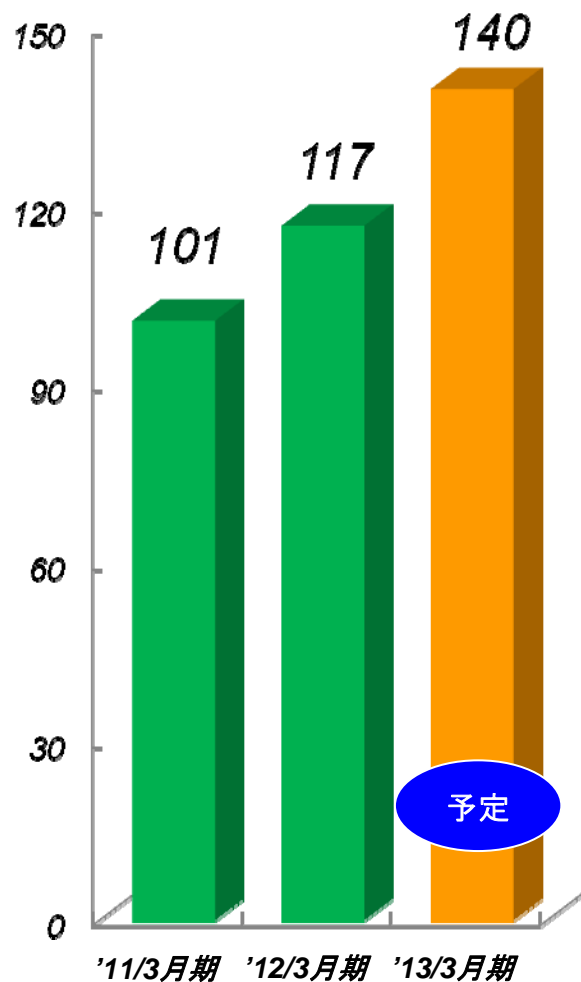
➤ 加工材事業部門

粘着用・FPC用剥離紙の需要回復が見込まれる
合成皮革用工程紙が中国国内での営業力強化による受注の回復を期待

2013年3月期 設備投資額・減価償却費・研究開発費の概要および見通し

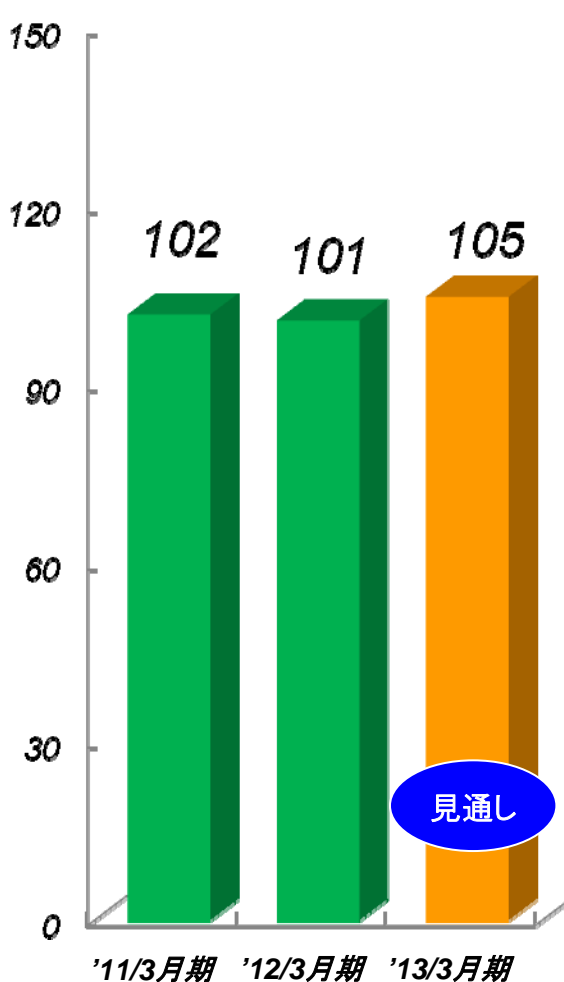
設備投資額

(単位:億円)



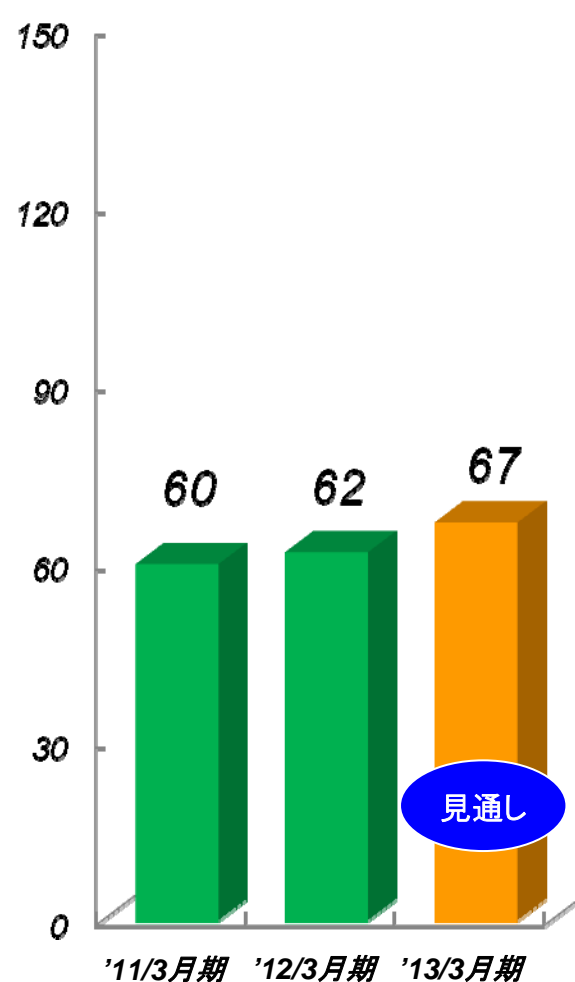
減価償却費

(単位:億円)



研究開発費

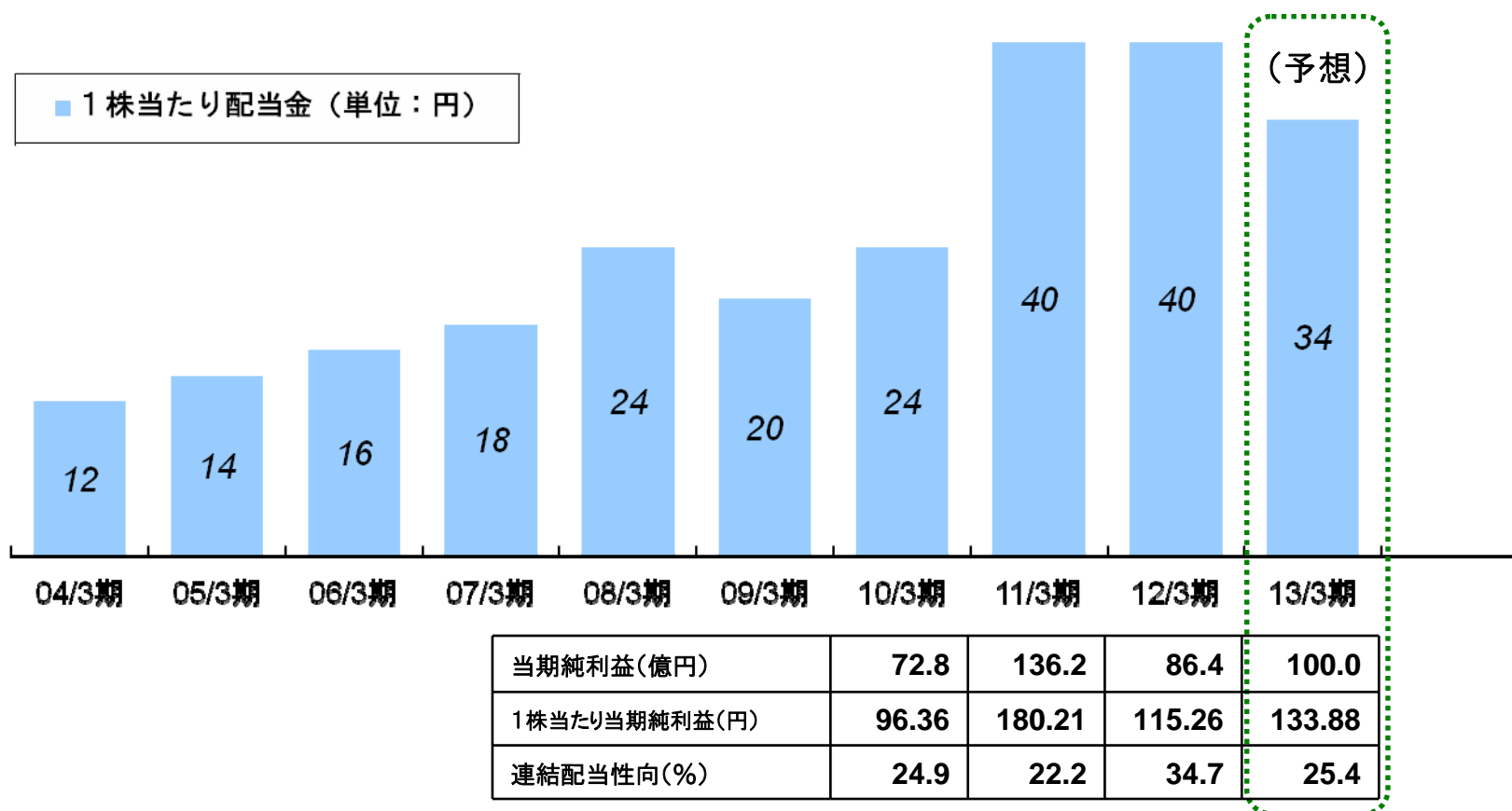
(単位:億円)



(基本方針)

長期的視野に立った事業収益の拡大並びに財務体質の強化を図るとともに、連結業績を考慮した配当を実施。

利益還元の指標として、連結配当性向20%程度を目標とする。



ご清聴ありがとうございました

本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。